



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

日・トルコ関係：元トルコ航空パイロットの葬儀

(2月27日付サバフ紙)

2月24日、元トルコ航空パイロットのオルハン・スヨルジュ氏 (Mr. Orhan Suyolcu) が亡くなり、25日イスタンブール市内で葬儀が行われた。27日付サバフ紙はこの葬儀の様子について「トルコ人パイロットに対する日本の敬意」と題し以下のとおり報じている。

(スヨルジュ氏は、1985年のイラン・イラク戦争時に、テヘランの在留邦人を脱出させるためにトルコから派遣された航空機にパイロットとして搭乗した。その功績をたたえられ、2006年4月29日、旭日小綬章が送られている。)

1. 1985年のイラン・イラク戦争時、テヘランに取り残された215名の日本人を救出するためにトルコ航空機を操縦した機長オルハン・スヨルジュ氏 (享年87) の葬儀が行われた。葬儀に参列した福田啓二・駐イスタンブール日本国総領事は、日本国から叙勲されたスヨルジュ氏の夫人に対し、「ご主人はトルコだけでなく日本にとっても英雄です」と語りかけた。福田総領事は、出棺においても頭を下げて敬意を表した。なお、日本においてもフェイスブック上で数百人に上る日本人が故人の冥福を祈った。
2. イラン・イラク戦争時に、当時のトゥルグット・オザル首相の命により、誰も行きたがらないテヘラン空港に飛び立ったスヨルジュ氏は、ミサイルの飛び交う中、日本人を救出した経緯がある。